

## ボブベックのやさしい投資信託

### 第28回 株式型投資信託のリスク その4

システムファンドの一例としてインデックスファンドを取り上げましたが、今回はこのインデックスファンドについて更に詳しく、解説していきましょう。

#### (7-b)インデックスファンド インデックスとは？

インデックスとは、株式全体の動きを表すための指数です。日本の株式市場を表すインデックスとしては、「日経225種平均株価(略して日経平均、または日経225)」や「東証株価指数(TOPIX トピックスと読む)」等があります。

#### インデックスファンドとは？

インデックスと同じように基準価額が変動する事を目指して運用するファンドの事をインデックスファンドと言います。インデックスに連動するのではなく、インデックスとの連動を自指すファンドなのだと言うことに注意してください。

#### 日経225とTOPIXの違い

日経225は、東証一部上場銘柄の中から選ばれた225銘柄の株価を単純に合計し、銘柄入替や株式分割時の連続性を保つために除数という数値で割って求めます。現在、この除数は21.0程度ですので、日経225採用銘柄全ての株価を合計して21で割ると、ほぼ現在の日経225の値になるわけです。

株価が10,000円の銘柄も株価が100円の銘柄も単純に足すのですから、当然10,000円の方が、日経225への影響は大きくなります。100円の銘柄が100円上昇(つまり倍)しても、10,000円の銘柄が100円上昇(1%の上昇)しても、

$100 \text{円} \div 21 \text{ (除数)} = \text{約} 5 \text{円}$

ですから、日経225は同じように約5円上昇します。しかし10,000円の銘柄が100円上昇するのは簡単ですが、100円の銘柄

が100円上昇するなんて事はめったにありませんよね。

TOPIXは東証一部上場銘柄の時価総額(時価総額 = 株価 × 発行済み株式数)を全て合計して求めます。つまりTOPIXは規模の大きい会社の株価変動の影響を、より強く受けるのです。そして時価総額の大きい会社としては、通信(NTTやNTTドコモ)、電気機器(ソニーや松下電産、富士通)、銀行(東京三菱銀行)などが挙げられます。つまりTOPIXの値動きは、これらの株式の値動きに大きく左右されると言う事なのです。

日経225への影響力の大きい銘柄		TOPIXへの影響力の大きい銘柄	
会社名	株価(円)	会社名	時価総額(億円)
京セラ	8,010	トヨタ自動車	136,345
アドバンテスト	6,460	NTTドコモ	129,464
TDK	6,300	NTT	81,480
東京エレクトロン	6,280	三菱東京FG	62,593
セコム	5,750	三井住友銀行	60,112
ファナック	5,650	みずほH	50,632
ソニー	5,050	本田技研	46,869
武田薬品	5,020	ソニー	46,442
本田技研	4,810	武田薬品	44,641
富士フィルム	4,630	東京電力	42,480
合計の占率	25.7%	合計の占率	22.5%

2001年9月7日現在

#### インデックスファンドの運用方法

日経225ファンドは日経225採用銘柄を等株数購入する事で、目的を達成できます。ただ、で説明したように株価の低い銘柄は、日経225への影響が小さいので組入から外し、200銘柄程度でポートフォリオを組んでいる場合もあります。

TOPIXファンドの場合は、ポートフォリオの構築が非常に難しい。各銘柄の組入比率が時価総額の比率と等しくなるように株式を購入すれば良いのですが、正確に比率を調整するには、上場全銘柄の発行済株式を全て購入しなければなりません。そんなことは不可能ですから、各社ともノウハウを結集し、少ない銘柄でTOPIXに連動するようなポートフォリオを組んでいるのです。